

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 くじら 組	5 月 21 日 ( 水 )	田原絵美香

## ● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～天気～ くもと雨についてしよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
日頃から子どもたちは「晴れてるから散歩に行けるね」「昨日雨だったから地面濡れてたよ」などと天気を意識する様子が見られる。また、涼しい日には「風が強いから上着を着よう」と晴れや雨以外にも天気全般に興味を持っている姿が見られる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00	○天気についての絵本を見る ・外に行ける日、行けない日はどんな日か考え、話し合う	【環境設定】 ・室内で写真や図を見ながら話し合いができる環境を設定する
10:15	・意見が出し合えるよういくつか質問を問いかけて進めていく	
10:15	○曇りや雨について考え、雲ができる原理について写真と図を使用して理解を深める ・雲はどのようにできるか予想を聞く	【準備物】 ・雲の写真集 ・雲・雨・雪の発生原理の図 ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー ・写真や図を掲示するためのマグネットなど
10:20	○雲の名称を写真で見る ・子どもたちそれぞれの好きな雲を話し合う	
10:25	○実際に雲を見に行く ・どのような形の雲が出ているか、それぞれが選んだ好きな形の雲が出ているか自分の目で確かめに行く	【参考資料】 ・雲の写真集 (巻雲、巻層雲、巻積雲、乱層雲、高層雲、高積雲、積乱雲、積雲、層雲、層積雲、穴あき雲、レンズ雲、スーパーセル等) ・雲・雨・雪の発生原理の図
10:30	○雲を描いてみる ・実際に雲がなかったため子どもたちで選んだ雲や好きな雲を絵に描いて表現し模造紙に貼り室内に掲示した	
10:55	○気づいたことや、感じたこと、思ったことは何か問いかけ、自分なりの気づきや感想を言葉にする機会をつくる	
11:00	○活動終了 次回を行うことを説明して終了する	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・本活動では雨が降る仕組み、雲の発生の仕組みを絵本で学び、図や写真で雲の形や種類について学んだ。好きな雲を友達同士で伝え合う時間を設けた。</p> <p>・実際に自分の目で雲の形などを確かめに外へ出た。活動日は雲の出ている日だったが、雲の無い日もあることを知る機会となった。</p> <p>・その後図から選んだお気に入りの雲の絵を描き室内に飾った。</p>	<p>【子どもの姿】</p> <p>・雲の形だけでなく、色の違いにも気が付き「黒くて怖いね」「これとこれは似てる名前の雲だね」などと小さな違いにも気が付き意見を出していた。</p> <p>・それぞれの好きな雲を友達と話し合いながら書き進めていた。</p> <p>【保育者との関わり】</p> <p>・座った活動だけではなく、実際に雲を見に行くなどして気分を切り替えて最後まで集中して活動に取り組めるよう進めた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・活動内容を理解しきれているか、集中して活動に参加しているかを意識してしまいがちだが、子どもが楽しく参加しているか、興味を少しでも持っているかが大切だと改めて感じた。</p> <p>・毎日散歩には出かけるが、雲の観察をする時間はなかった。改めてじっくりと観察する時間を設けたことで空に対する意識が持てて良かった。子どもたちは毎日雲は出ているものと思っていたようで、雲がほとんどない天気であったのも子どもたちの新しい気付きに繋がられたのではないかと思う。</p>	<p>戸外活動に出かけていても公園などの目的地に行って何か行うということが主の活動になっていたが、雲を観察する為に出かけるということは園児たちにとって新鮮な活動になり、そこから「好きな雲を描いてみよう」という活動に広がっていったことがとても良かったと思う。</p> <p>今後も園児たちの言葉に耳を傾け、好奇心や興味が広がる活動を行って欲しい。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 くじら 組	7 月 24 日 ( 木 )	田原絵美香

## ● 実施計画

活動テーマ		
たべもの～水～ 水ってなに？ / 水を探してみよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
水遊びが始まり、水に触れる機会が増えたことで興味や関心は大きくなっていった。 バケツ稲での水やり等を通して、水の感触を大切さについて考える機会が多かった。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
13:00	<p>○今回の活動について説明をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水について考えられるよう質問を投げかけ意見を出し合う</li> <li>・実際に保育園や自宅で水を使う場面はどこであるか考えを出し合ってみる</li> <li>・出た意見はホワイトボードにまとめる</li> </ul> <p>○水に触れてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室の水道にて意識して水に触れてみる</li> <li>・勢いよく出す蛇口、優しく出す蛇口と違いをつけ、水の出方、色、触った感覚などを実際に自分の目で見て触れて確認する</li> </ul> <p>○絵本の読み聞かせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本「すいどう」を読み水の流れる仕組みについて理解を深める</li> <li>・水の発生原理について以前の活動の思い出しも行う</li> </ul>	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて活動に参加出来るようグループごとに机、椅子を準備しておく</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本「すいどう」</li> </ul>
13:30	<p>○活動終了</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の活動内容の説明をして終了する</li> </ul>	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段何気なく使っている水について意識して触れてみた。</li> <li>・活動開始直後に水は何に使われているか考える時間を作った。</li> <li>・水に触れた後、絵本の読み聞かせによって水が循環していることを知る機会を作った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水はどこで使われているかという質問に対して、活動開始前に稲への水やりを行ったことで「お米につかっている」という意見が出た。それだけでなく、園や自宅での流れを思い出し、何に対して水を使用しているか真剣に考えている様子だった。絵本の中でも普段水を使っていることの説明があり、意見として出なかった「洗濯」に対して「洗濯もお水使うね」「思い出せなかったね」と自分たちから出た意見と照らし合わせる姿も見られた。</li> <li>・実際に水に触れることで掴もうとしてみたり、勢いの違う水に対して触れた感覚の違いを感じようとする姿があった。日頃消極的な子も順番を待ってから触れようとするなど積極的に参加する姿があった。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容に対して「子どもの学びに結び付いているのか」を気にして進めてしまうが、楽しく参加しながらすすめていくことが大切だと気づいた。</li> <li>・水の勢いによる触れた感覚はあまり違いを感じていないように感じた。その感じたことを否定しないことも大切だと思った。「どう感じた？」と抽象的な質問ではなく、「痛く感じる方」「強く押される方」など答えやすい質問の仕方を主るべきだったとも反省している。</li> <li>・自分たちの意見とその後の絵本に出てくる内容と照らし合わせていた姿に驚いた。意見を出して終わりにするのではなく、答え合わせの様な確認することが自然とできていてとても良い姿であると感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水というテーマは身近にはあるものだが、実感とはならずなかなか難しいテーマだと思った。最終的には「無くてはならない物」「大切な物」ということを今後の活動を通して感じてくれたら良いと思う。</li> </ul>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 くじら 組	12 月 21 日 ( 月 )	田原絵美香

## ● 実施計画

活動テーマ		
アート ～色のふしぎ～		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<p>日頃から制作や塗り絵が好きな子どもたちは色に興味を持っていた。好きな色を話し合っていたり、少しの色の違いに素早く気が付くなどの姿があった。今回の活動を説明の段階から興味を持って楽しみにしていた。</p>		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
13:00	<p>①色について知ろう ○色紹介 ・資材庫に行き数ある画用紙の中から自分の好きな色を選ぶ。 ・クラスの友達の前で選んだ色を見せ、正しい文章で理由を発表する。 「ぼく/わたしの好きな色は○○です。」 「理由は△△だからです。」</p> <p>②色を作ってみよう ④3原色から虹(6色)作り ○色作り ・赤、青、黄色の3色を使い、色を作っていく。 ・画用紙に記されている色を混ぜていく。 ・混ぜてできた色を虹に塗っていく。</p>	<p>○環境構成 ・落ち着いて話が聞けるよう、集中して活動に参加できるよう机を出しておく。</p> <p>○準備物 ・ホワイトボード ・各自好きな色の画用紙 ・白画用紙 (あか+あお=?のような質問を書いておく) ・絵の具(赤、青、黄色) ・筆 ・水入れ ・パレット</p>

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・今回は画用紙の保管してある資材庫にみんなで行き、全色の中から自分の好きな色を選んでもらった。一人ずつ入って選ぶことで誰かと同じにしたりすることなく、各自自由に好きな色を選ぶことができた。その後友だちの前で選んだ色とその理由を発表した。</p> <p>・赤、青、黄色の色を乗せたパレットを配り、各自色を混ぜて作っていく。混ぜて完成した色から虹に塗り色をつけていく。</p>	<p>・「ピンク」「水色」と選ぶ前から決まっていた子もいた。実際に明暗の違う2枚を見せ、同じ色でも違いがあることを伝え好みの方を選んでもらった。</p> <p>・好きな色の理由に発表について保育者が見本を見せて行うことで子どもたちも発表に対するイメージが湧いたようだった。</p> <p>・「恥ずかしい」と心配していた子も保育者や友達の見本を見たことで自信を持って発表することができていた。</p> <p>・混ぜてできた色を見て「白を混ぜたら薄くなるね」などと白や黒を混ぜた際の色味も想像しながら取り組んでいる様だった。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・以前、活動の中で自分の好きな色を作った子どもたちは、その活動を覚えていたようで「〇〇と〇〇を混ぜたら〇〇の色になったね」と教えてくれた子がいた。数か月前の活動でも楽しく学んだことは記憶にしっかりと残っていることを改めて感じた。</p> <p>・今回の活動を通して子どもたちが濃い色が好きか、薄い色が好きか、好みの色合いも知ることができた。好みの色合いになるまで慎重に混ぜる姿もあり、子どもたちの普段とは違った取り組みの姿勢を見ることができた。</p>	<p>・子どもたちが以前行った活動を思い出し、今回の活動に結びつけていることから経験を積み重ねることで活動が広がるという姿が見られてとても良かったです。</p> <p>・最初に担任が発表の見本をすることで子どもたちが発表をイメージでき、楽しく取り組めていました。</p> <p>・小学校では、もっとたくさんの人の前で発表をする場面も多くなるので、園での経験が子どもたちの自信に繋がると良いと思います。</p>